

宮永岳彦記念美術館だより

2016 6月



発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2

TEL / FAX 0463-78-9100 http://www.city.hadano.kanagawa.jp/s-gakushu/miyanaga.html

常設展示室

宮永岳彦

和の世界

2016年2月10日(水) ▶ 8月7日(日)

◆◆ 展示作品より今月の一点 ◆◆

《 舞妓 》



振袖に“だらりの帯”。“白塗り化粧”に、髪型は“割れしのぶ”といった、特徴的な舞妓の立ち姿を斜め後ろから描いているこの作品。舞妓から連想される目鼻立ちは、切れ長な目に小さな口元の京美人ですが、この女性は目も口も大きく洋風な印象を受けます。

そして、背景の濃淡が、女性の美しさをより際立てています。和紙の持つ偶然性に支配されがちな、にじみの効果を意図的に描くため、宮永は本来水墨画に用いる和紙ではなく、『アルシュ』という、フランス製の水彩紙を好んで使用していたといいます。

1969(昭和43)年に「現代水墨画会」の結成に参加する以前より水墨画の作品を描き続けていた宮永は、名古屋市立工芸学校在学中から筆の修練を積み重ねるなど、早くからその素養を備えていた。水墨画の濃淡やぼかしなどの技法は、早くからポスターや挿絵や童画、そして後の宮永美人画にも生かされています。

水墨画 1971年 95.0×74.0 cm

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

美術館ワクワク探検のお知らせ

子ども向け創作講座「美術館ワクワク探検」を、今年も7月に開催を予定しています。

詳細は、広報はだの(7月1日号)や美術館HPなどでお知らせし、同時に参加者の募集をします。

お楽しみに!



6月の休館日：6日(月) 13日(月) 20日(月) 27日(月)

市民ギャラリーのご案内 入場無料

秦野写真連盟 第14回秦野写真連盟展

6月7日(火)～6月12日(日)

10:00～17:00 初日13:00から 最終日15:30まで

会員の1年間の成果発表の場として写真展を開催し、同好の趣味を通じて仲間づくりをしていきたいと思っております。

栗飯原茂 山岳写真展＝山稜の四季＝

6月14日(火)～6月19日(日)

10:00～17:00 初日13:00から 最終日16:00まで

登山歴45年の思い出ショット。北アルプスや八ヶ岳、尾瀬等の山岳風景写真を展示します。

2016.7月の市民ギャラリー展覧会の予定

KEI 押し花倶楽部 押し花絵画展

7月16日(土)～7月18日(月・祝)

美術館自主事業 ワクワク探検 Vol.22

7月下旬

※6月1日(水)より2016年12月分までの予約を受け付けています。

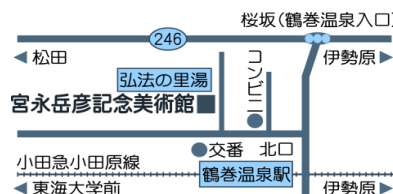
市民の健康と平和の象徴 健康の泉

中央運動公園の噴水周辺に、およそ1000株のバラを楽しめる「バラ園」がオープンしました。その噴水の中に立っているブロンズ像は、宮永がデザインし、彫塑家の井上久照氏により制作されたものです。噴水の磁石に書かれた建設の趣旨によると、1979(昭和54)年、中央運動公園全施設の完成にあたり、市民の健康と平和の象徴としてブロンズ像を建設し、「健康の泉」と名付けた、とあります。

宮永の絵画作品『翔・ボッティチェルリ「プリマヴェェラ」翔』を思わせる女性たちが、空に向かい伸び上がって腕を高く掲げています。3人が合わせた手の先には、宮永が作品の中でもよく使ったモチーフでもある1羽の鳩が羽ばたこうとしています。



美術館へのアクセス



◆ 小田急線鶴巻温泉駅より徒歩2分

◆ 駐車場 弘法の里湯と共用
20台
1時間150円、以降30分ごとに100円

《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641